

戸山をいつまでも残すために



戸山まちづくり委員会 定住促進部会
部会長 小西晃紘

戸山まちづくり委員会と部会

戸山まちづくり委員会

【部会】 ① 広場候補地選定部会

② 定住促進部会

③ 農業担い手育成部会

④ バス利用促進部会

⑤ 集会所レイアウト検討部会

⑥ 防災部会

⑦ 戸山の魅力発信部会

委員会は平成29年発足。

部会①～⑤は平成30年、

⑥・⑦は令和元年に設置。

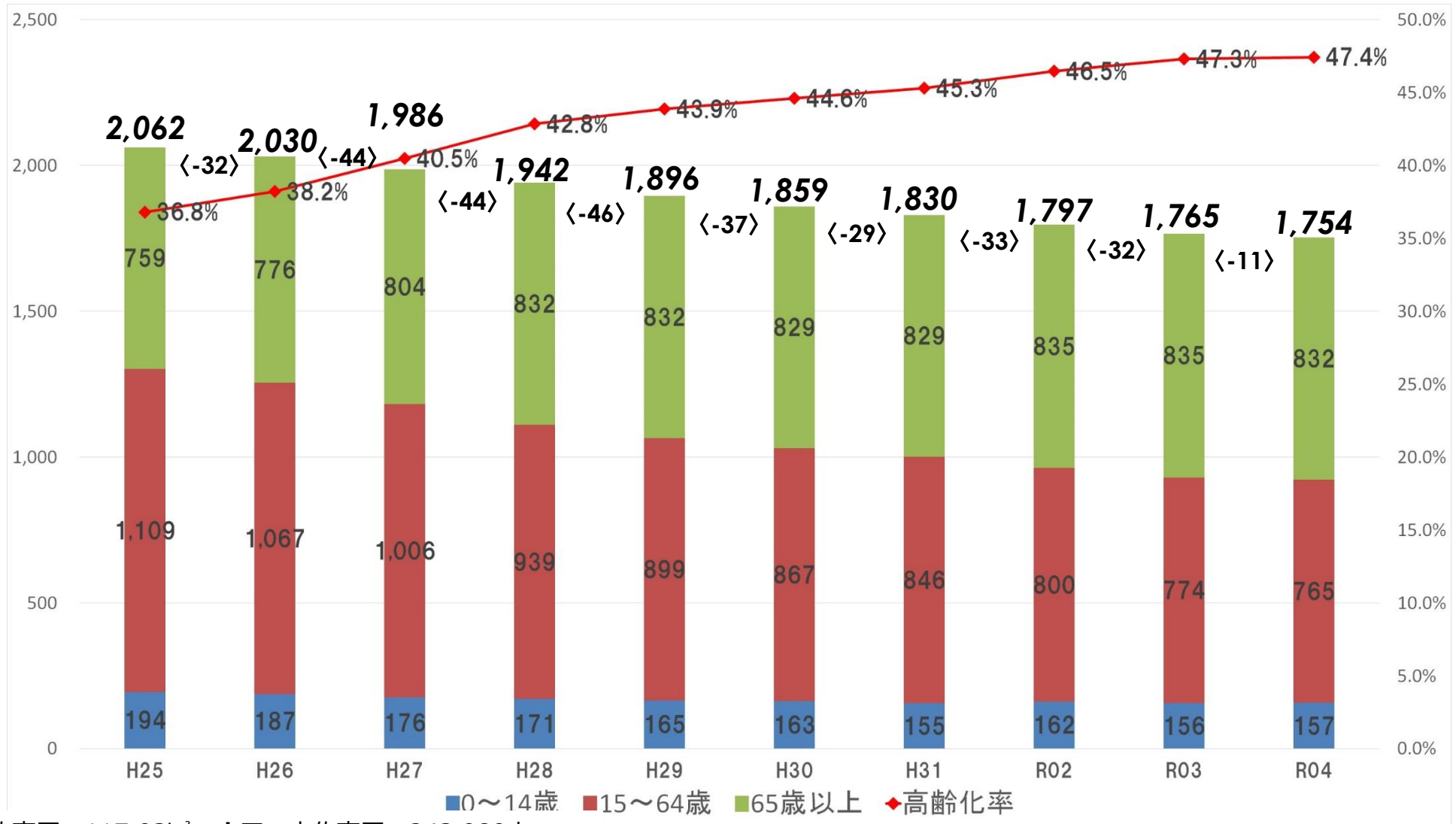
定住促進部会の目的

戸山をいつまでも元気に残すこと

地域を残す = 人が住んでいる ⇨ 学校を残す

子連れの家族・若い夫婦を増やす

人口と高齢化率の推移(3月末)



面積：安佐南区 = 117.03km² 人口：安佐南区 = 243,980人
 戸山地区 = 32.77km² 戸山地区 = 1,754人
 (安佐南区の約28.0%) (安佐南区の約0.7%)

»人口は10年間で308人の減少
 »高齢化率 戸山地区…47.4%

広島市……25.9%、安佐南区…21.7%

活動内容

①移住・Uターン希望者の情報収集

②空き家・空き地の情報収集

③希望者へ空き家・空き地を案内

→マッチすれば不動産業者などへバトンタッチ

目標

年間3組以上の子育て世代の移住

**年間3組の移住で、
ぎりぎり複式学級にならないから。**

これまでの実例

- 基本的に「現状渡し」

リフォームは不要(希望者が自分でする・したい)

出資はお互いの話し合いで(家財整理など)

- 条件付きでの賃借

「この部屋は使わないで」

「ここの草刈りもしてくれれば」

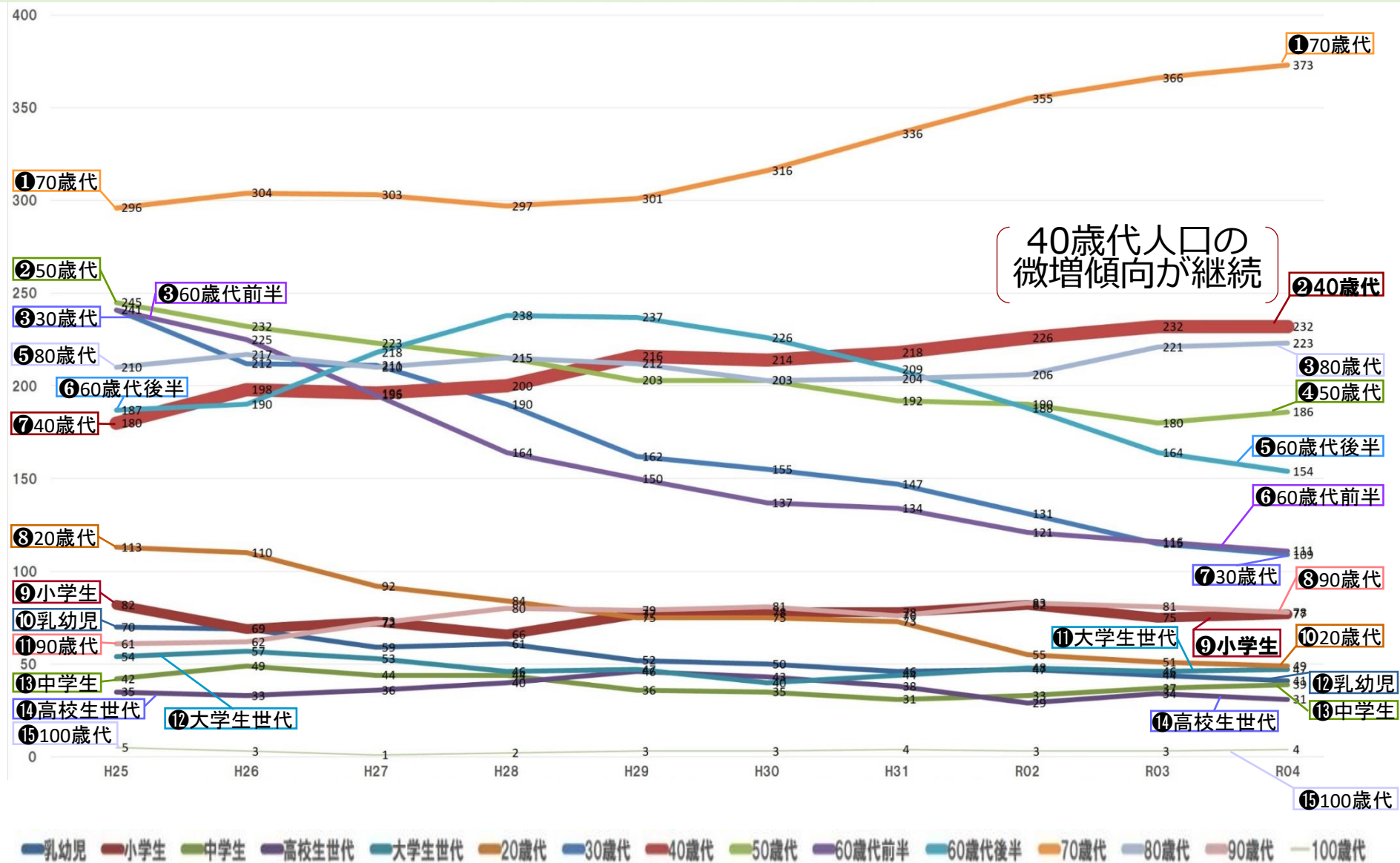
成果



**21家族の移住・Uターンをサポート
(活動開始から6年半)**



年代別人口推移(3月末)



課題

需要(移住希望者) > 供給(空き家・空き地)

紹介できる空き家・空き地の不足

多い時は40組以上が待機

→しかし、戸山への移住を諦めている

家主さんからの声(手放しにくい理由)

●住めるようなところではないから

→基本は現状渡し(土地も含めて)

廃墟でも良い(手続き・造成や景観等、家が無いところに新築するより良い)

●家財が片付いてないから

→片付ける時期的な計画は？ 家財整理業者のご紹介

家主さんからの声(手放しにくい理由)

●お仏壇があるから

→現住居へのお引越は？お焚き上げという選択肢は？

お仏壇業者のご紹介 大切なのはご本尊。

●親戚の体裁上・子どもが帰ってくるかも

→現在・将来、管理してくださる？

家主さんからの声(賃借・売買の後)

- 「自分の手で管理しなくて良くなった。」
- 「金銭面での負担が少なくなった。」
- 「ほっとした。」(肩の荷がおりた。)

いつまでも元気な戸山で

